

2021年 10 月 1 日

関係各位

北海道大学大学院理学研究院
地球惑星科学部門・寄附分野
北海道気象予測技術分野（北海道気象技術センター）
人事選考委員会 委員長 見延 庄士郎

教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、当寄附分野（設置予定）では下記により教員を公募することになりました。ふらつてご応募いただくとともに、関係各位にご周知下さいますようお願い申し上げます。

なお、北海道大学では、多様な人材による教育・研究活動の推進，男女共同参画推進に努めており，女性の積極的な応募を歓迎し，教育・研究活動と生活の両立支援，能力發揮・活躍環境整備に努めています。

謹白

記

1. 所属・職種・人員：

地球惑星科学部門・寄附分野 北海道気象予測技術分野（北海道気象技術センター）
特任助教 1 名

2. 専門分野・職務内容：

気象学に関する研究を，寄附分野の構成員および地球惑星ダイナミクス分野の研究室と協力して推進することができ，かつ大学院での教育に熱意を持って従事すること。当寄附分野の概要は別紙に示すとおりである。当寄附分野の教員は，教員の所属組織である理学研究院に属しています。また，大学院の教育組織である理学院においては自然史科学専攻・地球惑星ダイナミクス講座を担当します。

3. 応募資格：

博士号を取得していること。

国籍は問わないが，研究・教育・運営に支障が無い程度に日本語が使えること。

4. 着任予定時期：2022年4月1日。

5. 任期：2025年3月31日までの3年間.
6. 試用期間：あり（1ヶ月）
7. 給与：国立大学法人北海道大学特任教員就業規則による.
8. 勤務形態：専門職型裁量労働制を適用
※1日に7時間45分労働したものとみなす.
9. 健康保険等：文部科学省共済組合，厚生年金，労災保険，雇用保険加入
10. 募集者の名称：国立大学法人北海道大学
11. 受動喫煙防止措置の状況：特定屋外喫煙場所を除き，敷地内禁煙
12. 応募書類：
 - (1) 履歴書（学歴，国内外の学会活動，受賞歴，参加しているプロジェクト研究歴，各種研究費受領歴，非常勤講師の経歴などを含む）
 - (2) これまでの研究経過（2,000字程度）
 - (3) 研究業績目録（和文のものは和文で表記すること）
 - A. 査読のある英文論文および総説
 - B. 査読のある和文を含む英文以外の論文および総説
 - C. 査読のない論文，解説，著書
 - D. その他の出版物で特に参考になるもの
 - (4) 主な論文別刷または著書 5篇（複写可）
 - (5) 今後の教育・研究の計画と抱負（2,000字程度）
 - (6) 教育経験がある場合は，これまでの教育活動の概要（1,000字程度）.
修士論文の主査，博士論文の主査・副査の履歴（ほか実質的指導を含む）.
 - (7) 応募者について照会が可能な方2名の氏名と連絡先(e-mail addressを含む)※(1)-(7)の紙媒体1部に加え，PDF形式電子ファイルを記録したメディア（CD，DVD，USBメモリ等）も提出のこと。ただし(4)はPDF形式電子ファイルを作成し難い場合は紙媒体のみで可とする。また(4)以外の項目は可能な限り1ファイルにまとめること。
13. 応募締切：2021年11月10日（水）（必着）
封筒の表に「教員公募（北海道気象予測技術分野特任助教）関係」と朱書きし，郵便・宅配便の場合には配達記録の残る方法で送付して下さい。応募書類は返却しません。

14. 選考方法： 人事選考委員会で書類選考の上、面接あるいは講演会等を行うことがあります。

15. 書類の送付先：

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 北海道大学大学院理学研究院
地球惑星科学部門・地球惑星ダイナミクス分野 理学部8号館3階322号室
地球惑星科学第二支援室 電話／ファックス:011-706-3554

16. 問い合わせ先：

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学大学院理学研究院 地球惑星科学部門・地球惑星ダイナミクス分野
理学部8号館3階メールボックス
稲津 将 電話／ファックス：011-706-3549
電子メール：inaz@sci.hokudai.ac.jp

17. 参考ウェブページ

地球惑星科学部門・地球惑星ダイナミクス分野

<http://www.sci.hokudai.ac.jp/grp/dyna-admin/geodynamics/>

北海道大学大学院理学院

<https://www2.sci.hokudai.ac.jp/gs/>

北海道大学大学院理学研究院

<https://www2.sci.hokudai.ac.jp/faculty/>

北海道大学人材育成本部ダイバーシティ研究環境推進室

<https://reed.synfoster.hokudai.ac.jp/>

以上

寄附分野の概要

寄附者 株式会社 北海道気象技術センター

寄附講座等の設置期間

2022年4月1日から2025年3月31日まで

寄附分野の概要

北海道気象予測技術開発分野（北海道気象技術センター）は、気候変動の影響を強く受け激甚化する北海道の気象予測のため、理学から工学まで多岐にわたる分野の最先端の知見を結集した技術開発（研究）と、そのような学際的な人材育成（教育）を行うことを目的として、2019年度から設置した分野である。3年間を経て多くの成果を作り出したが社会の要請はより高度化し、研究の進展を進めるべきとの結論に至った。

西日本、東日本で多発している気象災害に見られるように経験則では対応が難しい状況となっており、北海道においても災害リスクは大きくなっている。気象庁をはじめとして気象情報は精密化・細密化しているものの、工学分野からの視点は十分でないのが現状である。このような背景を鑑み、本寄附分野においては、激甚化する北海道の気象に対応するための基盤技術の開発と防災支援に供する情報の作成を行う。具体的な研究教育内容は下記の通りである。

地球惑星ダイナミクス分野気象学研究室等の研究者と連携して、激甚化する北海道の極端気象が河川や交通に与えるリスクに着目し、防災対応者向けの気象災害予測情報の開発を行う。たとえばリードタイムを確保できる気象じょう乱に対しては、過去の類似災害事例を参照可能な検索機能データベース構築、局地的豪雨や線状降水帯のような予測の難しい事象に対しては短時間強雨ポテンシャルを評価するなど、新たな予報データを創出する技術開発を行う。次に、民間委託が行われている地方空港での安全な管制のため、気象・乱流・雷の詳細計算に基づく局所的即時的で冗長性をもったリスク対応スキームを開発する。さらに、冬季道路管理のため、これまでの統計的手法から乱流をどのように計算する次世代吹雪・視程予測手法を開発する。

また、これらの研究に必要な気象学的な知見は、北海道における地域社会に広く共有されるべきものである。よって、左様の社会的要請に応えるべく、修士課程・博士後期課程の社会人学生を積極的に受け入れる。